

豊かさ 確かさ 逞しさ

朝日さす



仙台市立南光台中学校
学校だより 第1号
令和6年4月12日
<http://www.sendai-c.ed.jp/~nanchuu/>

希望あふれる新年度がスタートしました！

南光台中HPはこちらから。
ブログもご覧ください。

桜の花が満開になる中、希望に満ちあふれた113名の新入生を迎え、生徒総計325名、教職員42名で南光台中学校の令和6年度がスタートしました。「豊かさ」「確かさ」「逞しさ」の教育目標のもと、生徒一人一人が輝き、笑顔と希望あふれる学校を目指して、教職員一同、一丸となって取り組んでまいります。今年度も保護者・地域の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。



入学式式辞

【前略】百十三名の新入生の皆さん、ご入学おめでとう。今日から皆さんは南光台中学校の一員となりました。我々は皆さんの入学を心待ちにしていました。今日から始まる中学校生活は義務教育の最終段階であり、人生で大きな分岐点に向う大切な三年間です。三年後には「自分の進路」は自分で決め、それぞれの道に向かって踏み出すこととなります。これまでは「小学校の次は中学校」という誰もが通る同じルールがありました。それはここまです。これからの三年間をどう過ごすかで皆さんの人生は一人一人違っていき、大きく変わります。そのことを自覚してください。そして三年後の旅立ちの時「南光台中で学んでよかった」と実感できるよう、これからの中学校生活を充実させてほしいと思います。そのために、私は次の三つのことをお話します。

一つ目は、「仲間とともに、自ら学ぶこと」です。学校は集団で学ぶ場所です。知識を得、それを生かし課題を解決する方法を学ぶ場所です。それは教科の授業に限りません。学校行事や部活動でも南光台中の一員として、様々なことを体験し学びます。その時「自分さえよければいい」と思ったり、受身に聞いたり体験したりしても、皆さんの本当の力にはなりません。「仲間とともに、自ら学ぼう」とする意欲を持ってください。

二つ目は、「自律して判断し行動すること」です。中学生は、「大人への第一歩」と言われます。それは、思春期を迎え自我意識が高まり「自分でできる」という気持ちが高まるからです。親や先生から言われることに反抗したくなることもあるでしょう。だからこそ、皆さんがすべきことは「自律」つまり自分を律することなのです。自分で立つ「自立」もありますが、自分の行動を自分の気持ちでコントロールする「自律」がより大切です。自分勝手なルールで動くのではなく、社会の一員として、大人として「自律して判断し行動」する人間になってください。

三つ目は「社会に貢献する気持ちを持つこと」です。皆さんは法律による義務教育の制度で学んでいます。この教育環境はごく当然に思えるかもしれませんが、これまで社会を支えてきた人々が子どもたちに確かな力をつけてほしいという熱い思いによってできたものです。その気持ちに答える意味でも、ふるさとを愛する人間として、地域や社会に貢献する気持ちを持ってほしいと思います。この「地域・社会貢献」の形は人それぞれでかまいません。今、中学生の自分にできること、数年後、未来の自分にできることを思い描くだけでもかまいません。その思いを南光台中の全員が胸に抱いて、できることから始めてほしいと思います。【後略】

中学校時代に経験してほしいこと

パソコンには、「ハードディスク」があり、様々な情報を記憶する。それに対して人間は、「ハートディスク」というものがあり、感動したこと、感激したこと、うれしかったことなど、私たちの心に残ることが記憶される。パソコンのハードディスクには容量があるが、私たちが持っている「ハートディスク」は容量が決まっていない。入れれば入れるほど大きくなり、人間としても大きくなるのだ。



入学式での代表生徒のすばらしい「誓いの言葉」を紹介します。

【前略】私は、これから迎える中学校生活とオリンピックを重ね合わせて考えるようになりました。

まずは「自分の目標に向かって努力する」ということです。オリンピックは、自らの最高のパフォーマンスを披露するために、4年間必死で努力していると思います。私たちもたった3年間しかない中学校生活を悔いなく過ごすために、自分の目標を明確にし、頑張ることが大切になると考えています。私は勉強も部活動も楽しみです。中学校でしか味わえない時間を無駄にすることなく、努力し続けることを心に誓っています。

そして、もう1つは、「自分を支えてくれている人たちに感謝を届ける」という気持ちです。応援してくれるファンのために、常に全力で表現してくれるオリンピックを、私はすごいと感じています。前回日本で行われたオリンピックは残念ながらほとんどの競技が無観客で行われました。しかし宮城で有観客で行われたサッカーの試合を、運よく観戦することができた私は、その時必死で競技に取り組む選手の姿に感動しました。今でも忘れることができません。誰かのためにプレーできることは、素晴らしいことだと学びました。ぜひ私も、これから迎える中学校生活の中で、今まで以上に、自分にはたくさんの方が関わってくれていることを、強く意識した生活を心掛けたいと考えています。【後略】

令和6年度 部活動 終了・下校時間 一覧表

Nタイム→50分授業 Sタイム→45分授業		通常				延長			
		6校時		5校時		6校時		5校時	
		Nタイム	Sタイム	N	S	N	S	N	S
4～7月	終了	17:45	17:15	16:45	16:15	18:15	17:45	17:15	16:45
	下校	18:00	17:30	17:00	16:30	18:30	18:00	17:30	17:00
8～10月	終了	17:30	17:00	16:30	16:00	18:00	17:30	17:00	16:30
	下校	17:45	17:15	16:45	16:15	18:15	17:45	17:15	16:45
11～1月	終了	17:00	17:00	16:30	16:00	17:30	17:30	17:00	17:00
	下校	17:15	17:15	16:45	16:15	17:45	17:45	17:15	17:15
2～3月	終了	17:30	17:00	16:30	16:00	18:00	17:30	17:00	16:30
	下校	17:45	17:15	16:45	16:15	18:15	17:45	17:15	16:45

延長は
中体連主催、
共催大会の
1ヶ月前か
ら実施可能
となってい
ます。

ステーションの設置について

令和6年度より本校では「ステーション」という名前の『学習を支援する場所』を設置しました。ステーションについて詳しく知りたい方は、学級担任の先生などにご相談ください。

